

「循環のまち・ふくおか推進プラン」一部改定に係る
パブリック・コメント意見要旨と対応について

令和7年3月
福岡市

1 パブリック・コメント手続の実施概要

(1) 実施の目的

「循環のまち・ふくおか推進プラン」(第5次福岡市一般廃棄物処理基本計画。以下「計画」といいます。)を一部改定し、家庭ごみにおけるプラスチックの分別区分を追加することについて、パブリック・コメント手続によって改定案を公表し、意見募集を実施しました。

(2) 意見募集期間

令和7年1月 29 日(水曜日)から令和7年2月 28 日(金曜日)まで(1か月)

(3) 実施方法

①計画改定案の公表方法

計画改定案を情報公開室、情報プラザ、環境局計画課、各区役所情報コーナー、入部・西部出張所、各区生活環境課において配架するとともに、市ホームページに掲載しました。

②意見提出の方法

意見については、郵送、ファクシミリ、電子メール、持参による受付を行いました。

(4) 意見の提出状況及び対応

①意見提出者総数

13 名

②意見の分類

意見の分類	件数
広報・啓発に関すること	8件
収集頻度等に関すること	6件
指定袋の価格に関すること	3件
処理体制・リサイクルに関すること	2件
その他	8件
合計	27 件

2 市民意見要旨と意見への対応

(1) 広報・啓発に関すること

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
1	ペットボトルのリサイクルについて、ペットボトルの蓋を付けたままボックスに入れる人や、蓋もペットボトルと併せてリサイクルしなければならないと思っている人が周囲に一定数いる。蓋のリサイクルの必要性や、なぜ燃えるごみとして出してよいかなどを学習用パンフレット等に記載してほしい。	ペットボトルの蓋につきましては、ポリプロピレンやポリエチレンの素材を使用しており、ペットボトルの素材であるポリエチレンテレフタレートと異なるものとなっているため、現時点においては「燃えるごみ」として排出していただくこととしております。令和8年度中にプラスチックの分別収集が始まった際は、蓋については、「プラスチック」の指定袋に、ペットボトルは従来どおり「空きびん・ペットボトル」の袋に入れて排出していただくこととなります。それぞれに適した手法でリサイクルすることとしており、分別の目的や効果等については、ルールブックやリーフレット等を作成し、分かりやすい広報啓発に取り組んでまいります。
2	排出するごみに含まれるプラスチック製品の割合は多いと感じていたため、分別を増やすことに賛成である。排出に向けては、新たな分別に加え、軽く洗浄する等の手間が増えることになるので、分別の目的や効果について、市民に分かりやすく情報発信をしていただき、削減効果を上げていただきたい。カーボンニュートラルの実現に向けても重要だと思うので、プラスチックの処理方法により二酸化炭素の排出量が異なることを可視化して伝えるなども良い方法だと思う。	分別の目的や効果等について、市政だよりやSNS等の様々な媒体を活用した広報に取り組むとともに、いただいたご意見も踏まえて、分かりやすい広報啓発に努めてまいります。
3	SDGsやサーキュラーエコノミーの観点からも、プラスチックの分別収集導入は評価できる取組みだと思うが、一方で、分別区分の追加は保管スペースの確保や分別の手間等、市民にとって負担が増えることになるため、市民の理解が得られるようリサイクル効果やCO2削減効果等についても、しっかりと広報していただきたい。	分別の目的や効果等について、市政だよりやSNS等の様々な媒体を活用した広報に取り組むとともに、いただいたご意見も踏まえて、分かりやすい広報啓発に努めてまいります。
4	福岡市は大きなイベントも多いので、その中でプラスチックの削減の取組みが進むことで、削減効果に合わせて、参加者への啓発効果が得られるのではと期待する。 ごみ減量に対する市民の意識は高まっており、個人の取組みが大きく関わってくると思うが、分別を行う中で疑問が生じた際、分かりやすい案内があると、関心があるけどめんどくさいと感じる層も、ストレスなく行動が起これると思う。	イベントにおいても、プラスチック使用の削減に取り組んでいくとともに、その機会を活用した啓発を実施してまいります。 分別のルールにつきましては、ルールブックを作成するなど、分かりやすい広報啓発に取り組んでまいります。
5	プラスチックごみとは具体的にどのような製品か、誰にでも分かるよう、パンフレットを配布してほしい。	プラスチックの分別対象となるものについて、ルールブックの配布やHP等へ掲載するなど、分かりやすい広報啓発に取り組んでまいります。
6	ペットボトルとプラスチックが混同しないか心配である。	ペットボトルとプラスチックが混同しないよう、ルールブックやSNS等を活用した広報啓発に取り組んでまいります。
7	福岡市から久留米市に引っ越してきてプラスチックごみを分別するようになったが、どれがプラスチックごみなのか分からないことが多い。福岡市で分別するときは、どんなものがプラスチックごみなのか分かりやすく示してもらえるとよいと思う。	プラスチックの分別対象となるものについて、ルールブックの配布やHP等へ掲載するなど、分かりやすい広報啓発に取り組んでまいります。
8	プラスチックの分別が始まるまでに分別方法について詳しく広報してほしい。他の素材の混合程度(ラップのシール、金属も含まれる薬の包装シートやCDなど)や汚れたものの程度など、「プラスチック」に出してよいのか、「燃えるごみ」等に出すべきなのか、分かりやすくないと分別する意欲がなくなってしまう。	プラスチックの分別対象となるものについて、ルールブックの配布やHP等へ掲載するなど、分かりやすい広報啓発に取り組んでまいります。

(2) 収集頻度等に関すること

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
9	分別には賛成であるが、現在、店舗で回収されているトレイなどのように、各家庭で週1回出すよりも、補助金を出し、いつでもプラスチックを出せるようにした方が分別を促しやすいのではないか。	プラスチックについては、多様な排出方法により分別を促すとともに、適正排出や出しやすい環境づくりに努めてまいります。なお、市内9か所の資源物回収ボックスにおいて、プラスチック製品については、年間を通して回収を行っております(※年未年始を除く)。
10	持ち出し日を燃えるごみ日のどちらか1日と同じ曜日に合わせてほしい。	プラスチックの分別しやすい環境づくりについては、今後とも検討してまいりたいと考えており、ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
11	家庭ごみのプラスチックの収集回数が週1回の収集となっているが、それほど多くは出ないと思うので、2週間に1回の収集でよいと思う。	収集回数については、家庭内での保管場所の確保、食品等の付着による衛生面や他の政令指定都市の状況を踏まえ、週1回としております。
12	プラスチックごみについて、量は比較的少量になる(ごみが出る頻度が少ない)と思われるため、収集頻度を下げるか、単身生活者でも使いやすいように少サイズのごみ袋を用意するといったと思う。特に、食品トレイ等にはおいが気になる人も多いと思われるため、なるべく早めに回収に出せるような環境にできたらいいのではないか。その一環で、スーパーなどの回収に協力してもらえらる店舗を増やしていくことも効果があると思う。	収集回数については、家庭内での保管場所の確保、食品等の付着による衛生面や他の政令指定都市の状況を踏まえ、週1回としております。小さいサイズのごみ袋については、ごみ収集が戸建て住宅の場合、自宅の前に排出するため、風で飛ばされにくいといった観点も踏まえ、サイズを検討してまいります。また、プラスチック資源の回収については、民間事業者とも協力し、循環型社会の実現に向けて、取り組んでまいります。
13	収集頻度については、週1回に賛成である。プラスチック製容器包装には、どんなに洗ったとしても食品が付着したものなどもあるので、最低でも週1回は収集してほしい。	収集回数については、家庭内での保管場所の確保、食品等の付着による衛生面や他の政令指定都市の状況を踏まえ、週1回としております。
14	持続可能な社会の実現のため、ごみ排出量の削減は重要な課題の一つであり、そのためにごみの排出ルールを変更し、市民の意識向上を図って取り組んでいくことはとても良いことと思う。プラスチックは、可燃ごみのようににおいが発生することは少なく、家に置いておくことができるので、月1~2回程度収集してもらえれば十分だと思う。	収集回数については、プラスチック製容器包装が、弁当や惣菜等の食品が入った容器の包装に使われていることも多く、食品等の汚れが十分に落ちない場合があり、夏場は特ににおいが発生する恐れがあるなど衛生面の問題、家庭内での保管場所の確保や他の政令指定都市の状況を踏まえ、週1回としております。

(3) 指定袋の価格に関すること

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
15	プラスチックの回収は始めから有料とするのではなく、無料の期間を設け、分別の周知を行ってほしい。	福岡市の家庭用ごみ袋の価格は、「排出者責任の明確化」「負担の公平性の確保」「ごみ減量・リサイクルのきっかけづくり」を目的として減量効果が分かりやすいような設定としていることなどを踏まえ、検討してまいります。ごみ袋の周知につきましては、市政だよりやSNS等の様々な媒体を活用した広報に取り組んでまいります。
16	プラスチックごみの袋については、空きびん・ペットボトルのごみ袋のように、燃えるごみの袋よりも安い価格にする等、市民にメリットがあり、プラスチックの分別への動機付けとなるような取組みについても、分別収集導入と併せて検討していただきたい。	福岡市の家庭用ごみ袋の価格は、「排出者責任の明確化」「負担の公平性の確保」「ごみ減量・リサイクルのきっかけづくり」を目的として減量効果が分かりやすいような設定としていることなどを踏まえ、検討してまいります。
17	指定袋の金額について、「プラスチック」の指定袋の金額は「燃えるごみ」と同額ではなく、「空きびん・ペットボトル」のように半額にしてほしい。「燃えるごみ」と同じ金額では分別する意欲もわかないし、「空きびん・ペットボトル」が資源物として「燃えるごみ」の半額であるのであれば、「プラスチック」も半額にするべきだと思う。	福岡市の家庭用ごみ袋の価格は、「排出者責任の明確化」「負担の公平性の確保」「ごみ減量・リサイクルのきっかけづくり」を目的として減量効果が分かりやすいような設定としていることなどを踏まえ、検討してまいります。

(4) 処理体制・リサイクルに関すること

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
18	プラスチックごみの分別回収については、サーマルリサイクルを実施するのであれば、全く意味のない施策であり、単に市民に負担を負わせるだけで、逆に、環境に悪影響を及ぼしている。分別回収しても結局燃えるごみの燃料とするのであれば、東京都と同じく、燃えるごみとして一緒に回収してほしい。合理性にかける施策には反対である。もし、環境施策を実施したいのであれば、マテリアルリサイクル分を、回収場所を設けて実施することを希望する。	プラスチックの分別回収後のリサイクルにつきましては、マテリアルリサイクルの手法を用いて処理することとしております。分別開始に向け、市民のみなさまには、分別の意義やリサイクル手法等についても広報啓発に努めてまいります。
19	家庭から出すごみに占めるプラスチックの割合が多いと感じる。プラスチックの分別は、気候変動対策や海洋汚染対策として効果が見込まれると思うので、分別の追加に賛成である。一方で、分別を増やすことによる処理費用の増加や、ごみ収集の作業員等の確保が懸念されるため、将来的な継続性についても考慮した上で、分別の開始をお願いしたい。	処理費用につきましては、効率的な収集運搬体制を検討するなど、経費の節減に努めてまいります。また、ごみ収集の作業員等の確保につきましては、収集運搬事業者と連携を図るなど、継続して人員の確保に努めてまいります。

(5) その他

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
20	プラスチックごみは軽くて飛ばされやすいため、他都市では、ネットで押さえるなどの工夫がされていた。	プラスチックごみが軽くて飛びやすいという特徴を踏まえ、ごみ出しの際の注意事項等の広報啓発に努めてまいります。
21	プラスチックのリサイクルを推進するため、事業者による自社製品の自主回収を促進する等、事業者と連携した取組みも実施していただきたい。	事業者による自社製品の自主回収については、既に一部の事業者と連携しており、今後も回収できる品目の追加等、事業者と協議を進め、検討してまいります。
22	海洋プラスチックごみ問題については、ごみのポイ捨てに起因する問題であるため、ポイ捨ての罰金強化を希望する。	ポイ捨てに関するご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
23	(17頁)図表25について、2024年度までの人口のデータがあれば追加してほしい。 (18頁)「MICE」、(22頁)「ICT」の用語説明を追加すべきだ。 (45、48頁)「くらし10」について、P.45には「6～10はP.48に記載」というように、片方のページからもう片方のページを参照できるようにしてほしい。 (64頁)環境局施設配置図について、最新のもの(地下鉄七隈線の天神南～博多延伸化後)があれば変更してほしい。 (70頁)マリノアシティ福岡の入込状況について、2018年の集計期間が4か月と他年の3分の1にもかかわらず(※より)、人数が他年と大差なく、また、前年より増えていることに違和感を覚える。同表における「福岡ヤフオク!ドーム」については、名称が変わったため現名称を下に(現～)と記入すべき。	今回の計画改定の内容はプラスチックの分別区分の追加に係るものですが、本計画は5年に一度見直しを行うこととしており、今後、令和7年度中に目標値の見直し等を含めた改定を予定しております。グラフやデータにつきましても、その際に併せて時点修正等を行うこととしておりますので、表記の修正も含めて、いただいたご意見も参考に、改定を進めてまいります。
24	(29頁)生ごみ削減について、生ごみを捨てる際、直接ごみ袋に入れるのに抵抗があり、毎回レジ袋などビニール袋や新聞紙、チラシを使ってしまうのだが、その度に資源を無駄にしていると感じる。何か解決策があれば教えていただきたい。	生ごみ削減につきましては、福岡市におきまして、家庭用生ごみ堆肥化容器の購入費用への補助などを行っておりますので、ぜひ、コンポスト(堆肥化)の活用をご検討ください。 https://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyoo/jigyokeigomi/life/3r/namagomi_taihikayoki_hojokin.html また、排出するごみの量が少なく、長期間ご家庭で保管するためにレジ袋等を使用されている場合は、特小サイズ(10L)の燃えるごみの袋も販売しておりますので、活用をご検討ください。
25	(34頁)「ラブアース」と「クリーンアップ」は何か違うのか知りたい。	ラブアース・クリーンアップにつきましては、一つの事業名ですが、固有の事業名は括弧書きにするなど、わかりやすい表記となるよう工夫してまいります。
26	(39頁)「マイバッグ」について、レジ袋1枚7～10gのプラスチック減量とあるが、プラスチック製のマイバッグを1枚つくるには何gのプラスチックが必要なのか、何回程度マイバッグを使えば「元が取れる」のか知りたい。プラスチック製のマイバッグを各家庭が複数個所持することによって、かえってプラスチックの増加につながらないか不安である。	プラスチック製のマイバッグにつきましては、一般社団法人プラスチック資源循環利用協会の報告書によると、レジ袋の重さが7.22gの場合、重さ32.2gのマイバッグであれば23回以上、重さ54gのマイバッグであれば38回以上の使用により、レジ袋に比べて温室効果ガスの削減につながるとされています。 引き続き、ごみ減量及び温室効果ガスの削減に向け、マイバッグの普及促進や代替素材への転換に向けた取組みなどを行ってまいります。
27	(51頁)コラムに「使用済みマスクの捨て方」とあるが、具体的にどう捨てればよいのか知りたい。ごみの教材にも記載してほしい。	使用済みマスクの捨て方につきましては、ごみに直接接触することのないよう、燃えるごみの袋をしっかり縛って出していただきますようお願いいたします。